

人身事故を減らすためにできること10箇条

普段の生活からクマとの遭遇に気を付けることで、人身事故を減らすことが出来ます。身近な環境にもクマが潜んでいる可能性があることを意識して行動しましょう。

① 日の出前、日没後の徒歩での外出に注意！

日中でも鈴など音の出るものを携行しましょう。山間地では隣の家に行く際にも注意が必要です。

② 通学路や散歩コースの安全を確認！

クマが潜みやすい雑木やヤブに囲まれている場所がないか確認し、下刈り等で見通しを良くしましょう。

③ 河川敷は熊の出没ルート！

ヤブなどで見通せない河川敷には昼夜を問わず近づかないでください。

河川との位置関係を考え、隣接する農地などの出入りの際にも十分注意してください。

④ 犬の散歩時にも人身事故発生！

散歩ルートや時間に注意してください。また外飼いの場合は、食べ残しのエサは放置せず処分しましょう。

⑤ 住宅街や自宅敷地でも注意！

敷地内や周辺にクマが潜んでいることもあります。クマの痕跡がないか確認し、家の外の物音には注意して対応しましょう。

⑥ 畑や果樹園などの見回りは車で！

必要に応じて、花火などで追い払ってから近づきましょう。また夜間の見回りは特に注意が必要です。

⑦ 空き家や倉庫、畜舎への侵入に注意！

クマは餌に対する執着が非常に強いため、畜舎の配合飼料、鶏小屋、倉庫内の米ぬかや穀類、ペンキやグリース類などに誘引されます。侵入されないように戸締りや誘引物の管理を徹底しましょう。

⑧ 夏～秋にかけてのキノコ狩りはリスク高！

キノコはクマの好物でもあります。

たとえ鈴などを携行していても、事故リスクが非常に高いです。注意してください。

⑨ 山地や河川作業中の事故にも注意！

林道補修や架線点検などの山地作業時、河川敷の刈り払いや環境調査時にも事故が発生しています。最寄りの役場などで周辺の出没状況を確認し、花火での追い払い、クマスプレーの携行を徹底しましょう。

⑩ 登山やサイクリング、キャンプなどの野外活動も注意！

登山やサイクリング、山間部での観光、散策には注意してください。事前に周辺の出没状況を確認しましょう。